

まちづくり提言の公表（令和3年9月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
三田川付近の地下道について	三田川北部の住民にとって、国道2号線を歩行者が南進するには地下道を通行せざる得ない。三田川交差点及び岐山小学校の前の地下道には、「自転車は押して歩いてください」と、標識があるにも関わらず、とりわけ高校生や一般の方も自転車に乗ったまま通行している状況が恒常化しており、歩行者にとって大変危険な状態となっています。注意も、しているが無視される場合も多く、小中学生への交通安全教育上も大変よくありません。現地に生活するものとして「何とかならないか」と思うが、このような状況はこの場所だけではないかと思う。市においても、警察やその他機関とも連携して、交通マナーの向上啓発に力を入れ、歩行者への安全を確保する具体的措置を是非とも検討してもらいたい。地下道の防犯ブザーを押しても、ブザーが鳴るだけで警察等に通じない。防犯上も、意味がないのではないか。	ご要望のありました「三田川交差点地下道」及び「岐山小学校前地下道」について、施設を管理している各機関に確認等を行いました。まず「三田川交差点地下道」については、中国地方整備局山口河川国道事務所が管理しており、担当者によれば「地下道入り口には、人や障害者等の通行には問題ないが、自転車等は簡単には乗って通行できないように柵を設置している。その柵には『自転車は押して』と記載された注意看板を掲示し、地下道通行時のマナー向上・啓発に努めている。実際のところ、看板等による運転者のマナー向上を啓発していくほかに方法がない。よって、看板等が破損しているようであれば新たに設置する。」との事でした。また、「岐山小学校前地下道」については、山口県周南土木事務所が管理しており、担当者によると「当該地下道については、視覚障害者用ブロックが設置してあり、障害者の方の通行に支障があると思われるため柵の設置は難しい。しかしながら、自転車運転者の地下道通行のマナー向上に関して、より目に着くような注意喚起の看板の設置等について、今後検討していく。」との回答でした。なお、周南警察署としての取り締まり等は難しいとの事でした。市生活安全課といたしましては、この度のご要望を受け、市内全ての高等学校及び専門学校長宛てに「自転車通学している学生の交通マナーについて」のお願い文書を発送いたしました。また、関係団体が「周南市交通事故ゼロの日」に当該地下道前等で立哨活動を行っていますので、その際に、地下道利用者に注意喚起を行う事としております。今後も、関係機関等と連携の上、自転車の地下道利用のマナー向上に向けて啓発等を行ってまいります。	生活安全課
犬の散歩のマナーについて	犬をロープにつなぐ公園内を散歩している人がいます。犬は飼い主の10mほど後ろをついていく状況です。これでは犬がふんをしても、持ち帰られず公園の環境は損なわれます。実際犬がふんをしているところを見ました。見ていて気分のいいものではありません。おそらくふんを処理する袋などは持っていません。当公園内での犬のふんの処理の徹底、犬をロープにつなぐ等について呼びかけていただけないでしょうか。一番いいのは条例等で定めて、違反者に罰則を設けることだと思います。	市ではまず「放し飼い禁止」や「フン害に困っている」などの内容の看板を各所に設置し、啓発をさせていただきます。それでも改善されないようであれば、散歩の時間帯に出向き保健所と合同で飼い方の指導をさせていただくことといたします。看板設置後、また散歩される際に看板の箇所を確認していただき、他の箇所にも設置してほしいということがありますらぜひご連絡いただければと思います。よろしく願いいたします。	環境政策課
帝人徳山事業所跡地の利用について	帝人徳山事業所跡地に水族館を作ったらいいのではないのでしょうか。理由は以下のとおりです。 1. 港なので水族館として適地。 2. 工場夜景が同時に楽しめる水族館として売り出せば全国的にも珍しいため全国各地から人を呼べる。 3. 新幹線駅から一駅で目の前といった好立地なので県外からのアクセスも非常に良い。 4. 2. と絡めて、周南の工場夜景の全国的な認知度向上にも繋がる。 5. 中、大規模な水族館は山口県中西部に他にないため競合が起きづらい。 6. 街そのものの魅力が大きく向上する。 7. 地域の子ども達への教育的効果も有する。	当該跡地につきましては、所有者である帝人株式会社において、活用に向けた作業等が順次進められているところです。また、当該跡地は、地域経済のみならず、広く日本全体の経済を支える「周南コンビナート」の一角に位置する工業専用地域であることから、帝人株式会社と山口県、周南市のあいだで、課題の整理や、情報の共有、支援の在り方等について協議を続けております。今回いただいたご提案につきましては、帝人株式会社と山口県、周南市のあいだで情報共有を図り、ご提案に添えていただいております「街そのものの魅力の向上」、「地域の子ども達への教育的効果」なども参考に、引き続き、当該跡地の活用について、協議を続けてまいります。	商工振興課
粗大ごみ搬入について	粗大ごみ搬入時、布団などはくらない、袋に入れられないようにと言われました。このことはごみ分別のパンフレットに記載が無く、市に電話で問い合わせた問題ないと言われたので搬入したものです。粗大ごみ搬入で通常の処理(布団については燃えるゴミ40cm以内に切るのみパンフレット記載あり)と異なる場合もパンフレットに記載していただけると幸いです。毎回パンフレットを読んで搬入するのですが、記載ない事項で処理場のスタッフの方に指摘を受けます。できるだけ施設の方のご迷惑おかけしないよう準備したいと思っています。施設での受付が厳しくない、規律が守れないことも理解しています。ぜひ施設の分別受付の方にパンフレットをチェックしていただき、ごみ搬入における注意についても、辞書形式のところ、または処理場のページに搬入時多い間違いなどとして記載していただけたら幸いです。	ご指摘いただいた布団などの粗大ごみの搬入につきまして、市民の皆様にご迷惑のない案内に努めるよう周知いたします。また、家庭ごみ搬入受付センターへの粗大ごみ等の搬入時の注意事項について広報等で周知できるよう検討いたしますとともに、次回の「ごみの分別方法」のパンフレットの改訂の際にはより分かりやすい分別方法の記載に努めてまいります。	リサイクル推進課

まちづくり提言の公表（令和3年9月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
周南市のキャッチコピーについて	周南市のキャッチコピー「ここから、こころつながる。周南市」だが、市のホームページを開いて確認しないと思い出せるものではない。市民が誇りを持ち、いつでも口ずさめるようなスローガンティックなものであるべきだ。適切ではなかったのではないかと感じる。この言葉をはじめとして、このプロモーション事業がどのような成果をもたらしたかを検証することも必要である。	キャッチコピー「ここから、こころつながる。周南市」は、市民と職員が連携したワーキングチームで、ワークショップをはじめ何度も話し合いを重ね、決定したものです。キャッチコピー発表の際も市長と市民メンバーが同席し、メンバーの方にも思いを語っていただいております。市民や職員の思いが入ったキャッチコピーです。「確認しないと思い出せるものではない。」というご指摘については、10月には、シティプロモーション特設サイトのリニューアルも控えており、今後もしっかりキャッチコピーを周知していく予定です。また、事業の成果については、しっかり検証をしていきます。	シティプロモーション課
徳山駅前の噴水について	徳山駅前の噴水を子どものプール代わりに使用される方を見かけることがあります。私は毎週駅前図書館を利用しているのですが、夏場は毎日プール代わりにしているのを見ました。噴水は、暑い夏場に噴水を見てもらい、涼を得てもらうためのものではないのでしょうか。子どもが全裸の状態で見かけることもありました。保護者の心がけも大切と思いますが、市も子どもの将来を守る観点からも対応が必要なのではないのでしょうか。市広報、ホームページ、回覧板、学校配布のプリントなどにより、噴水を見る目的以外で使用しない空気を作っていくことが必要と考えます。駅前再開発が進み、今後周南市に来られる方が増えるのは確実です。周南市に来られた方が、すばらしい駅前だと感じていただけるよう切に祈ります。	徳山駅北口駅前広場の噴水は、駅利用者等が眺めて涼を得ていただくことに加え、憩いや潤いなど、駅前広場全体に優しさが演出されるよう整備したところでございます。小さなお子様が水遊びをされること自体は、微笑ましい光景ともとらえられますので、否定するものではありませんが、ご指摘のとおり、子どもの将来に支障をきたすおそれも考えられますし、駅前広場は市の玄関口ですので、皆さんが気持ちよく利用できるよう、現地に看板を立てるなどして駅前広場利用者のマナーアップに努めてまいります。	中心市街地活性化推進課